

つくばみらい市長

いじま 善 ぜん



新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことを、謹んでお慶びを申し上げます。

つくばみらい市は、平成18年3月27日の誕生以来3年目をむかえます。常日ごろより、市政各般にわたりまして、皆様方には格別のご支援・ご協力を賜り、あらためて厚くお礼を申し上げます。

さて、三位一体の改革による行政改革が進むなかで、平成19年3月に「つくばみらい市行政改革大綱」およびその実施計画となる「つくばみらい市集中改革プラン」を策定しました。これらの計画に基づき、簡素で効率的な行政の実現を目指して、財政基盤の強化を図るとともに、市内を巡回するコミュニティバスの運行、防災行政無線の再構築事業、保健センター

を核とした健康増進事業、介護予防事業を推進してまいりました。また、基幹産業である農業については、水稲の生産調整に理解と協力を得ながら、農業経営の基盤強化や生産体制の整備を図ってまいりました。

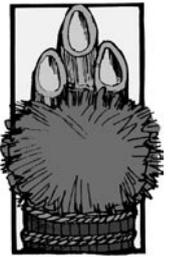
本年は、つくばみらい市として初めてまちづくりビジョンを示した「つくばみらい市総合計画」をスタートさせる年となります。これをこれまで育まれてきた歴史・文化を大切にしながら協働と融和を基本に、本市の将来像である「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」づくりに向け、諸施策をまい進してまいります。

私の座右の銘は、「初心忘るべからず」です。常に初心に返り、市民の皆様方のご理解とご協力のもと、創意・工夫し、さらなる行政効率の向上を目指し、今年も頑張つてまいりますので、市民の皆様方のご支援をよろしくお願ひいたします。

結びに、この一年が市民の皆様にとりまして幸多い年となりますことをご祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今年もよろしくお願ひします。

新年のごあいさつ



つくばみらい市議会議員

ひろせ みつる 満



市民の皆様明けましておめでとうございませう。

平成20年の新年にあたり、市議会を代表して謹んでごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、常日ごろ市議会に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は世界中で地球温暖化の影響と思われる異常気象が多発し多くの生命や財産が失われました。また、国際化、情報化、少子高齢化などが急速に進行しており、地方分権による国、県からの権限委譲や補助金、地方交付税の削減など、本市においても特に財政面をはじめと課題を抱えているなか、行政需要はその量・質ともますます複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあります。こうしたなかで、皆さんの声を的確に捉え市政に反映させることが、私どもの責

務であると考えております。

つくばみらい市誕生から1年10ヶ月余りが経過し新年を迎えたわけでございますが、新市の総合計画基本構想を始め上下水道料金の統一が図られ、長い歴史の中でそれぞれの道を歩んできた伊奈町と谷和原村の制度の統一がほぼ完了しました。私たち市議会議員も合併特別期間が今年2月29日までとなり、2月3日に行われる市議会議員選挙により、20人の市議会議員が生まれ、3月1日からは新しい体制で市の将来像である「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」実現に向け、今後さらに創意工夫を重ね、市民皆様方のご期待に応えるよう、更なる飛躍を目指すこととなります。これまでのご支援・ご協力等に対しまして厚くお礼申し上げます。

最後に、市民の皆様のご多幸を祈念いたしますとともに、今年も市議会に対し相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。